

ふらっと・西京

2016.12.15 発行

かわら版 第11号

平成28年10月19日(水)西京区役所にて、今年度3回目のふらっと・西京が開催されました。

今日のふらっとさん

◆我がまちのお宝さがし◆ 西京たんぼうクラブ

「あれは3年前の7月のことです。ふらっと・西京で半世紀ぶりに出会った旧友が、“故郷をもっと知りたい”と、立ち上げたのが西京たんぼうクラブなんです。・・・」と、語り始めたおサルのジョージこと伊藤省二さん。以来、もっと知りたい、お隣さんにも知ってもらいたい、さらに明日へつなげたいと、3年間で11回、延べ約400人が、西京区内の有形・無形のお宝を求めてたんぼうしています。当クラブ最大の特長は、5人のコアメンバーが熱い想いとそれぞれの特技をベースに、楽しく企画・運営する点です。メンバーの皆さんに想いを一口で語ってもらいました。

くまのぶーさんこと
小林和正さん：人の和、
地域の輪、楽しい話



榊龍一こと笹川一さん：
活動を通じてご縁が広がる
事が楽しみです

オットセイこと
船津東光さん：いろ
んな魅力ある方々と
出会え、エネルギー
がふっとうします



おサルジョージこと
伊藤省二さん：とにか
く、何でもかんでも知り
たい、知らせたい!

キティーちゃんこと
西村由利さん：
ふらっと来て下さい、
何かに出会えます

第3回の「ふらっと・トーク」で話されたテーマ・内容

老化防止から健康へ (提案者：佐野さん)

- 問題意識の共有
 - ・老化防止について何をすれば健康につながるか
- どうしたらいいか (アイデア)
 - ・老いを楽しむ。
 - ・ボランティア、山登り、陽に当たる、体操
- 課題 (難しさ)
 - ・親のことを心配するフラットさ (企画の考え方) で参加しやすいかしにくい。
 - ・男性は参加しにくい。今の自分を知ること。

参加者の声：今日行く (きょういく、教育)、今日用 (きょうよう、教養)、感動を求めて、好きな時間にファジーに活動する。

自然発生的集団作り (提案者：高松さん)

- 問題意識の共有
 - ・行政区割は、小学校区割のみではなく、更に段階的に準備されている事が分かった。けど実際誰も知らない。
- 課題 (難しさ)
 - ・行政の区割りを破る事は難しい。

参加者の声：地域での学区をこえた自主的な集まりを伝える方法が難しい。

テーマを提案された方の「記録シート」、参加者の「ふりかえりシート」をもとにまとめました。



地域のおたからたんぼう術 (提案者: 伊藤さん)

○問題意識の共有

- ・身近なところの知られざるお宝が、案外、見過ごされているのでは？
- ・貴方のお宝は私のごみ！
- ・昨日のゴミは、今日のお宝。今日のお宝は明日のゴミ。
(お宝は遷ろい易い！)

○どうしたらいいか (アイデア)

- ・お宝の選定基準を多様化する。
- ・お宝データベース化、公開
- ・お宝さがし・鑑賞グループの交流

○課題 (難しさ)

- ・お宝所有者の財産権の保障、配慮
- ・人間国宝など個人的属性の高いお宝の発掘、伝承

参加者の声: 次世代にもつなげることも大切です。



朝かゆ会をしたい! (提案者: 木村さん)

○問題意識の共有

- ・開催場所と、開催人数、保健衛生
- ・“朝かゆ会”は名称で昼でもOK。→しがらみのないコミュニティと独居の安否。
- ・日本人の昔を思い出す。(食材、人とのつきあい) (季節感、七草や小豆) etc
- ・おかゆにまつわる伝統を再確認。

○どうしたらいいか (アイデア)

- ・少人数で徐々に参加者を広げる。
- ・男性も気がねなく出歩ける。
- ・おかゆに限らず、いろいろなもちより会。
- ・地域の物を使う (大原野の竹の器を使うなど・・・)

○課題 (難しさ)

- ・雨でも決行出来る場所→区役所、支所が活用できたらうれしい。
 - ・食材の調達方法→もちより方式? 現地で?
 - ・日時を決める。
 - ・スタート時の対象を絞る。
- ☆朝かゆに限らず、お茶会でも。あくまで名称・・・。

参加者の声: 少人数からスタートが大事。

次回、第5回「ふらっと・西京」は
平成29年2月23日(木)
19時から西京区役所です!
ぜひご参加ください!



家事援助を考える。ボランティア? 有料?

(提案者: 齋藤さん)

○問題意識の共有

- ・家事援助をどの様にしていくか? 学生ボランティア、リタイアボランティアをどの様にボランティアに関わってもらえるのか

○どうしたらいいか (アイデア)

- ・学生に格安で住居を提供して地域活動をしてもらう。
- ・高齢者をどの様にボランティアに
- ・定年前にボランティア(地域活動)を勧める。退職後の???とする???

○課題 (難しさ)

- ・大学へ出向き地域活動のプレゼンをする。
 - ・企業へ出向き地域活動のプレゼンをする。
- ※学生は電話ができない。

参加者の声: 大学に出掛けてボランティアの募集や企業へのプレゼンもアリ

阪急高架下がこんな風になったらいいな

(提案者: 江口さん)

- ・区内にはにぎわいのある場が少ないので、西京区の新しいスポットとなれば良い
- ・目的を持っていける場所
- ・細長い場所は、使いにくい反面、長さを利用したものも出来る
- ・地域の方も電車利用の方も集まれる場、
- ・1kmの長さを活かしたもの(ジョギング、ウォーキングコース、トリムコース)
- ・イオン、桂高校、自衛隊との連携も必要
- ・全天候型スポーツ施設、シャワー室、更衣室、トイレ
- ・他にはない差別化された店
- ・イベントスペース
- ・地元野菜や桂高校の野菜、花の販売
- ・特殊な遊具がある公園(親子で楽しめる公園)
- ・地元産野菜、果物のジューススタンド
- ・マルチスペース
- ・シェアカフェ
- ・場所を管理するNPOなどを作る
- ・日本一長いウンテイ
- ・コンビニエンスストア
- ・歩いていくには遠い場所もある
- ・採算性も必要

参加者の声: 人が集まる場所=お店というのはちょっとさみしいなと思います。



ふらっと・西京 で検索